



平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月5日

上場会社名 株式会社バイタルケーエスケー・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3151 URL <http://www.vitalksk.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 鈴木 賢
 問合せ先責任者 (役職名) 経理財務部長 (氏名) 高橋 喜春 (TEL) 022-218-6155
 四半期報告書提出予定日 平成26年2月12日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	428,221	2.5	2,644	3.5	5,357	4.3	3,431	3.5
25年3月期第3四半期	417,857	1.3	2,555	—	5,136	90.8	3,315	57.1

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 4,233百万円(25.1%) 25年3月期第3四半期 3,383百万円(34.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	58.08	—
25年3月期第3四半期	55.95	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	294,921	66,585	22.4
25年3月期	280,363	64,088	22.7

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 66,200百万円 25年3月期 63,739百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	6.00	—	8.00	—
26年3月期	—	8.00	—	—	—
26年3月期(予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	558,000	1.9	2,800	1.3	6,300	2.0	4,000	2.3	67.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社、除外 一社

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は添付資料4ページ「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	61,224,796株	25年3月期	61,224,796株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	3,080,291株	25年3月期	1,958,114株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	59,091,052株	25年3月期3Q	59,266,919株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- ・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権の経済政策に対する期待感等による円安・株高基調を背景とした消費者マインドの改善もあり、景気の先行きに明るさがみられるようになりました。

当社グループの主たる事業である医薬品卸売業界におきましては、国の医療費抑制策により平成24年4月の薬価改定で実質6.4%の薬価基準の引下げが行なわれたものの、高齢化の進展等により医薬品市場は堅調に推移いたしました。

このような中、当社グループにおきましては、当期から3ヵ年の第2次中期経営計画がスタートいたしました。『医薬品卸売事業において、顧客とWin-Winの関係を構築する』『地域包括ケアシステムに関連した事業に投資し、地域のヘルスケアインフラの構築に貢献する』の2つを中期ビジョンに掲げ、地域のヘルスケア・コーディネーターを目指してまいります。

平成25年7月1日には、本社のスリム化や効率化、ガバナンスの強化を目的に、当社、主要事業子会社、(株)VKシェアードサービスの各社管理部門を中心に組織の新設・統合を実施いたしました。また、事業子会社である(株)バイタルネットでは、平成25年9月東京都江戸川区に「城東出張所」、同年12月青森県つがる市に「つがる出張所」を開設し、より地域密着型の営業力強化を図っております。

平成26年1月1日には、本業の医薬品卸売事業の強化のために、グループ会社の(株)井上誠昌堂（本社：富山県高岡市）と石川県金沢市に本社を置く同業の(株)フレットが合併し、合併新会社（新社名：(株)ファイネス）を発足いたしました。現在、当社と(株)ファイネスとの資本業務提携締結に向け、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（独占禁止法）上の審査手続中であります。資本業務提携締結後、当社グループは、主力商圏である東北・新潟エリアと近畿エリアに、事業基盤が強化された合併新会社の北陸エリアが地続きで繋がることになり、より一層の収益力の向上と事業機会の拡大が期待できます。

さらに、ヘルスケア・コーディネート事業の一環として、サービス付き高齢者向け住宅を仙台市青葉区（住宅名：ベルハート西公園）及び兵庫県豊岡市（住宅名：四季の里とよおか）の2箇所に建築中であり、いずれも来年度上期中にオープン予定です。これにより、周辺医療機関との関係を強固にするだけでなく、当社グループとしての住宅事業や介護事業における新たな収益の確保が期待できます。

当第3四半期連結累計期間の業績は、連結売上高428,221百万円（前年同期比102.5%）、連結営業利益2,644百万円（前年同期比103.5%）、連結経常利益5,357百万円（前年同期比104.3%）、連結四半期純利益3,431百万円（前年同期比103.5%）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 医薬品卸売事業

医薬品卸売事業におきましては、前述のとおり、平成24年4月に実質6.4%の薬価基準の引下げが行なわれ、カテゴリーチェンジ（医療用医薬品の販売の比重が長期収載品から新薬創出・適応外薬解消等促進加算制度対象品やジェネリック品等に移行する現象）により長期収載品の販売が大幅に減少しました。しかし、平成22年4月の薬価改定時に試行的に導入された、前述の新薬創出・適応外薬解消等促進加算制度対象品や新製品（先発品）の販売に注力し、販売の伸長に努めてまいりました。また、利益面では、一部のメーカーでの共同仕入による利益の獲得に努めるとともに、カテゴリーチェンジへの的確な対応として単品単価による納入価交渉にも注力してまいりました。さらに、主要な事業子会社（(株)バイタルネットと(株)ケーエスケー）では、平成24年4月より本格稼働した営業戦略システム「VKマーケティング」により、得意先別営業損益状況を基にした営業戦略を実行し、収益力の維持・向上に引き続き努めるとともに不採算先の取引改善交渉にも注力してまいりました。

その結果、売上高は、417,435百万円（前年同期比102.4%）、セグメント利益（営業利益）は、2,340百万円（前年同期比106.9%）となりました。

② その他事業

その他事業におきましては、農薬の卸売事業が好調に推移した結果、売上高は、10,786百万円（前年同期比107.0%）となったものの、セグメント利益（営業利益）は、238百万円（前年同期比85.3%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末から14,558百万円増加し、294,921百万円となりました。内訳は、流動資産217,235百万円、固定資産77,686百万円であります。

流動資産の主な内訳は、現金及び預金33,973百万円、受取手形及び売掛金135,784百万円、たな卸資産31,025百万円及び未収入金15,064百万円であります。なお、前連結会計年度末に比べ、設備投資等の支出により現金及び預金が12,596百万円減少したものの、受取手形及び売掛金が21,104百万円増加したこと等により、流動資産が10,447百万円増加しております。

固定資産の主な内訳は、有形固定資産33,410百万円、無形固定資産2,092百万円、投資その他の資産42,183百万円あります。なお、前連結会計年度末に比べ、建設仮勘定が1,833百万円増加したこと等により、固定資産が4,110百万円増加しております。

負債は、前連結会計年度末から12,061百万円増加し、228,336百万円となりました。内訳は、流動負債205,490百万円、固定負債22,845百万円あります。

流動負債の主な内訳は、支払手形及び買掛金198,728百万円、短期借入金1,950百万円及び賞与引当金632百万円あります。なお、支払手形及び買掛金が前連結会計年度末に比べ12,488百万円増加したこと等により、流動負債が10,904百万円増加しております。

固定負債の主な内訳は、退職給付引当金8,444百万円及び負ののれん3,868百万円あります。なお、長期借入金が前連結会計年度末に比べ2,100百万円増加したこと等により、固定負債が1,156百万円増加しております。

純資産は、前連結会計年度末から2,497百万円増加し、66,585百万円となりました。主な内訳は、四半期純利益3,431百万円の計上及び自己株式取得に伴う控除額の増加785百万円等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期の業績予想につきましては、平成25年5月14日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	46,569	33,973
受取手形及び売掛金	114,679	135,784
たな卸資産	29,614	31,025
未収入金	14,483	15,064
その他	2,800	2,661
貸倒引当金	△1,360	△1,274
流動資産合計	206,787	217,235
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	11,667	11,876
土地	17,746	17,825
その他(純額)	1,957	3,708
有形固定資産合計	31,371	33,410
無形固定資産		
その他	1,529	2,092
無形固定資産合計	1,529	2,092
投資その他の資産		
投資有価証券	31,751	32,929
その他	10,253	10,532
貸倒引当金	△1,328	△1,277
投資その他の資産合計	40,675	42,183
固定資産合計	73,575	77,686
資産合計	280,363	294,921

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	186,240	198,728
短期借入金	1,050	1,950
未払法人税等	2,279	675
賞与引当金	1,631	632
その他の引当金	167	190
その他	3,217	3,313
流動負債合計	194,586	205,490
固定負債		
長期借入金	900	3,000
退職給付引当金	8,765	8,444
その他の引当金	222	228
負ののれん	4,420	3,868
その他	7,381	7,304
固定負債合計	21,689	22,845
負債合計	216,275	228,336
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,000	5,000
資本剰余金	12,675	12,675
利益剰余金	35,140	37,623
自己株式	△1,201	△1,986
株主資本合計	51,614	53,312
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,125	12,888
その他の包括利益累計額合計	12,125	12,888
少数株主持分	348	385
純資産合計	64,088	66,585
負債純資産合計	280,363	294,921

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	417,857	428,221
売上原価	387,157	397,015
売上総利益	30,700	31,206
返品調整引当金戻入額	176	167
返品調整引当金繰入額	197	190
差引売上総利益	30,679	31,183
販売費及び一般管理費	28,124	28,539
営業利益	2,555	2,644
営業外収益		
受取利息	122	118
受取配当金	585	628
負ののれん償却額	557	552
受取事務手数料	1,107	1,134
その他	270	318
営業外収益合計	2,642	2,751
営業外費用		
支払利息	37	32
その他	23	6
営業外費用合計	60	38
経常利益	5,136	5,357
特別利益		
固定資産売却益	0	10
貸倒引当金戻入額	112	143
受取補償金	170	104
その他	12	62
特別利益合計	295	320
特別損失		
固定資産売却損	6	0
減損損失	11	88
特別退職金	—	56
その他	88	32
特別損失合計	106	177
税金等調整前四半期純利益	5,325	5,499
法人税等	1,968	2,029
少数株主損益調整前四半期純利益	3,356	3,470
少数株主利益	41	38
四半期純利益	3,315	3,431

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,356	3,470
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	27	762
その他の包括利益合計	27	762
四半期包括利益	3,383	4,233
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,342	4,194
少数株主に係る四半期包括利益	41	38

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)
該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	407,775	407,775	10,082	417,857	—	417,857
セグメント間の内部売上高又は振替高	962	962	1,932	2,894	△2,894	—
計	408,738	408,738	12,014	420,752	△2,894	417,857
セグメント利益	2,189	2,189	279	2,468	86	2,555

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額86百万円はセグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	医薬品卸売 事業	計				
売上高						
外部顧客への売上高	417,435	417,435	10,786	428,221	—	428,221
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,028	1,028	1,957	2,985	△2,985	—
計	418,463	418,463	12,743	431,207	△2,985	428,221
セグメント利益	2,340	2,340	238	2,578	66	2,644

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、医薬品等の小売業、農薬・動物用医薬品の卸売業、運送業、介護サービス業、医療機関に対するコンサルティング業等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額66百万円はセグメント間取引消去によるものであります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。